

# セザンヌ没後100年記念 世界のセザンヌ名画が一堂に！ 『プロヴァンスのセザンヌ展』と写生ツアー

世界のセザンヌ名画（原画）が史上初めて一堂に！セザンヌの制作スポットで世界の画人があこがれたプロヴァンスの風光を写生制作しませんか。

**期 間：**2006年6月08日（木）～6月14日（水） 7日間（ご希望でパリにて滞在延泊可）  
**ご参加料金：**¥287,000-  
**募集人数：**30名様（写生制作には世界的に活躍中のフランス人女流画伯がご指導します）

近代絵画の父と謳われるセザンヌの有名作品が一堂に集められる《セザンヌ2006国際展覧会》がセザンヌの生誕地南仏のエク・アン・プロヴァンスで行われます。これはセザンヌ没後100周年を記念し、生地のエク市が呼びかけ世界の有力美術館やコレクターが賛助する初めての試みで世界の絵画界の2006年度最大の呼び物と熱い期待を寄せられています。エク市内とその郊外にはセザンヌが画架を据え制作に取り組んだスポットが数多くあり記念標識され残されています。本ツアーはこのまたとない期間中にセザンヌ制作スポットに立ち写生制作を楽しもうという主旨です。周辺の風景は100年前とさほど変わらぬスポットもあり、当時のセザンヌ絵画と照合するのも格別の感慨があると思われまふ。南仏プロヴァンス地方は豊かな自然と温暖な陽光に恵まれ画人文人が制作、創作の場として移り住んだところで、エク市からほど近いアルルやサンレミはゴッホが生産の大半の作品をものした所として広く知られております。プロヴァンスは1年のうち305日が晴天といわれています。どうぞこの絶好の機会にフランス絵画の故郷ともいえるプロヴァンスにお出かけいただき写生制作をお楽しみいただけますようご案内申し上げます。

## 《日程表》

日次	月日曜	都 市 名	発着時間	交通機関	備 考	食事
1	2006年 6月08日 木曜日	成田空港 発 パ リ 行 パ リ 発 マルセイユ 着	昼 夕方	エアフランス エアフランス 専用車	成田を乗り降り経由でマルセイユへ 専用車でエク・アン・プロヴァンスへ エク・アン・プロヴァンス 泊	機内 機内
2	6月09日 金曜日	エク・アン・ プロヴァンス 滞 在	09:00  17:00 20:00	専用車	エク・アン・プロヴァンスの作家モニック・ファイヤール氏の先導にてポール・セザンヌが制作活動したアトリエを訪ねます。その後、セザンヌが野外で写生した足跡を訪ねて市内、郊外を巡り翌日からのスケッチポイントの下見をします。前後に市内で「プロヴァンスのセザンヌ展」を見学 昼食は各自 ホテル朝食 モニック女史を交えて翌日からのスケッチ演習へのアドバイスを受けながらの夕食 エク・アン・プロヴァンス 泊	朝食 夕食
3	6月10日 土曜日	エク・アン・ プロヴァンス 滞 在	朝	専用車	終日、お好みの場所にて写生制作 仕上げは市内モニック女史の工房にて エク・アン・プロヴァンス 泊	朝食 夕食
4	6月11日 日曜日	エクス レ・ボー サンレミ カマルグ アルル	13:00 15:00 19:00 20:00	専用車	ホテルを出発して印象派画家に描かれたプロヴァンスの自然を探索 11世紀に築いた王国で岩山の頂に吊橋が渡る ゴッホが入院生活を過ごしながら生涯の過半の絵を描いたサンレミ。画廊としたアルビュン山塊、糸杉の並木道等を見学 自然保護区域アルルの郊外カマルグで昼食。食後、ゴッホが生活していたアルルへ アルル市内のゴッホの画廊に基づく創作スポットを探索 ・黄色い家 ・夜のカフェテラス ・ゴッホ記念館 ・アリスカン墓地 ・ローヌ川の里月夜 ・旗ね橋 等 ホテルチェックイン 夕食はCafé・Van・GOGHにて アルル 泊	朝食 昼食 夕食
5	6月12日 月曜日	アルル 発 アヴィニオン 着	08:00 12:00 17:00 19:00	専用車	早朝、市内の散歩 ホテルを乗り、ウォークリュース山系を經由してアヴィニオンへ 《ゴルド》山頂の古城を中心に階段状に斜面を占め見事な景観で知られた町 《フォンテイン・ドゥ・ウォークリュース》世界有数の湧き水として知られる美しい風光の中の泉 世界遺産に指定されたローマ法王庁の街アヴィニオン到着。普後、市内散歩 ホテルチェックイン 市内レストランにて夕食 アヴィニオン 泊	朝食 昼食 夕食
6	6月13日 火曜日	アヴィニオン 発 マルセイユ 着 マルセイユ 発 パ リ 着 パ リ 発	午前 午後 夕方 夕方 深夜	専用車 エアフランス エアフランス	出発まで自由行動 ホテルを乗りフランス最大の港町・マルセイユへ マルセイユ市内観光 ・カネビエール通り ・山上の教会 ・旧港 等 マルセイユを乗り、パリ経由で帰国のご送 機内 泊	機内 機内 機内
7	6月14日 水曜日	成田空港 着	夕方		普後、送迎解散	機内

「写生制作」には現地で指導者が付き、仕上げは氏のアトリエで行います

### 指導者のプロフィール

- モニック・ファイヤール氏（女流画家/エク・アン・プロヴァンス生まれ） エクス・アン・プロヴァンス生まれ
  - ・1981年よりサロン・ド・トーンヌに出品。ストックホルム、NYCアートフェアに招聘出品
  - ・1979年よりフランス、イタリア、スウェーデン、ドイツ、スペイン、米国、日本で多数の個展
  - ・1998、2000、2005年、銀座のギャラリーポートにて個展

プロヴァンスの透明な光、太陽の恵みを受けた大地の鮮やかさをペインティングナイフの一色塗りで力強く描く風景画は大胆で豊かで鮮明な揺らめきがある（Paul Chovelon 評）